



石井としろう 「まちづくり」奮闘記



市民の身近な声が聞きたいと、昨年春から始めた「まちづくりアンケート」。これまでに、はがきやメールで500以上の声を集めることができました！

「地域の公共交通が不便」「待機児童問題を何とかして」という声から、「うちの前の道路が陥没していて危ない」「防犯灯を付けてもらいたいけどどうしたらよい？」という話もたくさん聞かせてもらいます。

具体的な話には、石井としろうが
すぐ駆けつけて直接確認に！

あるケースでは、道路のくぼみを確認したもの、アスファルトを持って来ることは素人にはできないので、その方に代わって市の担当部署へ電話。しかし、一か月たっても、フォローなし。

仮に何らかの理由で対応できないなら、その旨だけでも市民に伝えられたら良いのに... 切ないなあ...



新市長の誕生によって、市役所全体が市民にとって身近となり、市民が「打てば響く役所だ！」と思える仕組みに変えていきます。そして、
「みんなと動かす」西宮市へ！

まちづくりアンケートにご協力ください！

「みんなのまちづくりプロジェクト」では、市民の声をベースに政策づくりを行っています。既に数百通のご意見をいただきました！今後、もっと皆さんの声に耳を傾けて、みんなの夢が膨らむ西宮のビジョンをつくっていきます！ぜひ、アンケートにご協力ください！

アンケートサイトはこちら www.toshiro.jp



みんなのまちづくりプロジェクト PHOTO NEWS!



2017.10.28

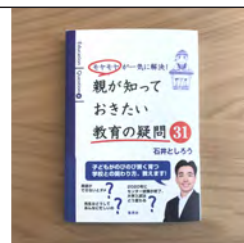
2018年4月22日に向けて、
石井としろうが正式に会見を行いました！

「OPEN!」の基本理念と、「みんなと動かす」「みんなと学ぶ」「みんなと暮らす」の政策目標をベースに、新しい西宮市を作り上げていくと訴えました！

2017.11.24

新著「親が知っておきたい教育の疑問31」
が集英社から出版されました！

学校との関わり方やネットとの付き合い方、グローバル化やAI時代といった現代の課題に向き合うために、親が知っておいたら安心と思える項目を、Q&A方式でまとめた本です！ぜひ一度、手に取ってみてください！



2017.12.2

「石井としろうと新しい西宮をつくる会」が
盛大に開催されました！

力強い応援団からの激励の後、石井としろうから「新しい西宮市のビジョン」と題した講演を行い、約40項目に及ぶ具体的な政策が語られました！この政策は、今後市民の声を受けとめて、さらにパワーアップしてゆきます！

2017.12.20

松下玲子武蔵野市長と懇談をしました！

住宅地として人気の高い吉祥寺のある東京都武蔵野市は、同じく住宅都市の西宮市と沢山の共通点があります。松上市長自身も、20年近く前に香櫨園に住んでいたそうです！（ツマガリの大ファンだそうです！）春には応援に来てくれる予定です！



石井としろうについて

1971年5月29日生まれ（46歳）、無所属。慶應義塾大学卒業後、神戸製鋼所や日本総合研究所を経て、2009-12年に衆議院議員。公共政策学修士（米国ペンシルバニア大学院）、防災士、介護職員初任者研修修了。妻と4歳の娘との三人で日野町に在住。現在、精力的に西宮市内各地を歩き回り、課題発見と市民の声に耳を傾けながら、新しい西宮市のビジョンを構築中！

みんなの
まちづくり
プロジェクト



みんなのまちづくりプロジェクト PRESS Vol.3

2018年1月1日（毎月1日発行）

〒662-0915 西宮市馬場町1-4-6階

Tel: 0798-33-3600 Fax: 0798-33-4000

E-mail: office@toshiro.jp

URL: <http://www.toshiro.jp>

2018年1月

OPEN! 西宮

2018年4月22日
開かれた新しい
西宮市政となります！



みんなのまちづくりプロジェクト代表の

石井 としろう

さんの政策をご紹介します。

特集
1

みんなと
動かす



「市長へのホットライン」創設

「せっかくよいアイデアがあるけど。」
「これは直接トップの耳に入れたい。」
こんな声に応えるのが、「市長へのホットライン」です。
新しい西宮市では、市長が寄せられたご意見や提案に目を通し、
必要な対応、検討を行います。直接つながることで、
多様な声に耳を傾けることができます。



情報「フルオープン」構想

原則全ての行政情報を公開し、IT等の活用で
「見える化」を徹底します。「見える行政」によって、
市役所への信頼度向上につながります。

「市民提案型予算枠」の導入



新しい西宮市では、一般の市民からも新たな取組の
提案を募ります。「市民提案型予算枠」を設け、
市長や議員、市職員だけでは思いつかない
アイデアで新しい事業を進めます。

「いっしょにしましょ課(仮称)」の創設

新しい西宮市では、市民の困りごと、特に市役所内の
組織を横断する課題を「ワンストップ」で受けとめます。
お隣の芦屋市には「お困りです課」が
ありますが、新しい西宮市では、
市民参画を見据えた窓口 にしたいと考えています。

若い声を市政へ! 「未来人材枠」の創設

新しい西宮市では、若い声を積極的に市政に反映する
仕組みをつくりまします。各種審議会等に、10代、20代の
「未来人材枠」を設けるとともに、
インターネットを活用した取り組みで市民の声を集めます。

「市民参加型行政レビュー」の実施

西宮市で行われている事業に対して、その効果検証を
公開の場で行います。市民にも検証に参加してもらいます。
行政側のコスト意識が徹底されるとともに、
市民参加の推進につながると考えます。



特集
1

みんなと 動かす



情報フルオープン、
市民提案型まちづくり、
アクティブな市長!

新しい西宮市は、「OPEN!」を合言葉に、
市政と市民をつなぐ「仕組み」を変え、
市民の声をベースにした
まちづくりを行います。

市長が率先垂範「市長給与削減」

市のトップである市長がまず範を示して市政を
けん引します。現在、阪神間で断トツのトップである
市長給与をそのまま受け取ることはあり得ません。

※参考 2017年12月の阪神間の各市長の期末手当額
西宮市 336万円、尼崎市 224万円、芦屋市 266万円
伊丹市 256万円、宝塚市 212万円、川西市 194万円

Free Wi-Fi まちづくり構想

将来的には、西宮市全域 Free Wi-Fi を
目指したいと思います。まずは、主要な駅前や
役所前などで Free Wi-Fi Spot をつくりまします。
そして、その Free Wi-Fi を通じて、
簡単なアンケートへの協力をお願いし、
Net 世代の声を汲み取る仕組みをつくりまします。



アクティブに現場に行く市長!

市長が市役所の先頭に立って、真っ先に現場に赴きます。
市長が毎週、市内の学校・保育園・病院・介護施設等を
訪ねる「ウィークリー現場訪問」や、市長が市民と
直接対話する「マンスリー対話集会」を行います。
市長となった後も街頭から「まちかど市政報告」を行います。

幹部職員への積極的な女性登用

西宮市の女性管理職割合は 11.6% と
県平均 (14.6%) 以下。これを少なくとも県平均を
上回るようにして、女性の目線を市政に活かし、生活者、
消費者、お母さんにやさしい西宮市を目指します。

2月号 特集予定
特集 2
みんなと
学ぶ



コミュニティ・スクール、就学前&
生涯学習、図書館パワーアップ。
こどもも大人も、みんなの学びを
応援する西宮に。「文教住宅都市」
の宣言にふさわしい、最良の教育
都市を目指します!

3月号 特集予定
特集 3
みんなと
暮らす



待機児童ゼロの実現、健康づくり支援、
家族と一緒に医療・介護、災害に強く
エコで安全な街。つながり、支え合う
ことで、西宮はさらに住みやすくて
まします。たくさんの笑顔を引き出すまちと
仕組みを作ります。

次号からもご期待ください!!